

令和元年度外来種対策事業について

環境局環境政策部自然環境課

環境局環境政策部自然環境課では、今年度の外来種対策事業として、以下の項目を実施した。

1 外来種対策研修会

地域で特に問題となっている侵略的外来種対策について、市町村やNPO等を対象とした研修会を開催した。

	第1回研修会	第2回研修会
開催日	令和元年11月28日(木)	令和元年12月10日(火)
場 所	本庁舎	三の丸庁舎

内 容：・県内における外来種対策
 ・アライグマの生態と防除
 ・植物の外来種問題
 ・外来生物法と防除
 ・侵略的外来アリの生態と防除
 ・動物の外来種問題

出席者(延べ人数)：

市町村職員 80名、NPO職員等 30名、県職員他 37名 合計 147名

2 専門家の派遣

外来種対策について、知識・経験が不十分な市町村に対して専門家を派遣し、指導・助言を行った。

実績： アルゼンチンアリ等の外来アリ (2件)
 碧南市のスパルティナ属 (1件)

3 侵入初期段階の外来種への対応

○ スパルティナ属

平成30年12月に、碧南市内の堀川において、外来種スパルティナ属の生育が確認されたため、根絶に向けた効果的な駆除方法の検討することを目的として、国、県、市を構成員とした連絡会議を設置するとともに、駆除を行った。

4月：国、県、碧南市等が人力により護岸部分の駆除を実施

10月：碧南市が重機により河床部分の駆除を実施

○ ブラウジングアント

平成29年7月に生息が確認されたため、根絶に向けて今年度も引き続き殺虫剤(ベイト剤(毒餌)、液剤散布)により駆除を行った。

駆除時期：4月から11月まで毎月、3月(予定)

4 侵略的外来種の現状把握(本検討会：環境調査センターが実施)

条例公表種、特定外来生物、そのほか悪影響が懸念される外来種の生息生育情報を把握し、今後の対策の基礎資料を集積していく。

H28年度：淡水域、H29年度：陸域、H30年度：沿岸域、R1年度：補足調査

5 ヒアリに係る対応

○愛知県内では、平成29年6月30日に名古屋港（鍋田ふ頭（弥富市））でヒアリが確認されて以降、これまでに10事例確認されている（今年度は事例なし）。

番号	確認地点	確認日	確認状況	備考	積出港
1	弥富市 (名古屋港)	(H29) 6月30日	コンテナヤード： コンテナ外部	7個体	南沙港 (中国)
2	春日井市	7月10日	事業者敷地内：倉庫	1個体（内陸部初） 5個体	南沙港
	飛島村 (名古屋港)	7月12日	コンテナヤード： コンテナ内	11個体	
3	弥富市 (名古屋港)	8月4日	空コンテナヤード： コンテナ内	約100個体	廈門港 (中国)
4	名古屋市港区 (名古屋港)	9月1日	事業者敷地内：コンテナ内	約1,000個体 (女王アリ1個体)	天津港 (中国)
5	弥富市 (名古屋港)	10月3日	コンテナヤード： 全国68港湾調査 (踏査)	2個体	不明
6	弥富市 (名古屋港)	11月7日	空コンテナヤード： コンテナ内	7個体	中山港 (中国)
7	飛島村 (名古屋港)	(H30) 7月5日	事業者敷地内：コンテナ内等	約20個体	廈門港 (中国)
8	瀬戸市	7月20日	事業者敷地内：コンテナ内	約350個体 (女王アリ、さなぎ含む)	黄埔港 (中国)
9	小牧市	8月22日	事業者敷地内：コンテナ内	約20個体	南沙港 (中国)
	弥富市 (名古屋港)	8月23日	コンテナヤード： コンテナ内等	約50個体	
10	愛西市	(H31) 2月18日	事業者敷地内：倉庫	約30個体	フォス＝シュル＝メール港 (フランス)
	飛島村 (名古屋港)	2月19日	コンテナヤード： コンテナ内等	2個体	

○県として、以下のとおり対応を行った。

・国への要請

要請日	要請先	主な要請内容
(R1) 7月19日	環境省 国土交通省	・早期発見・防除徹底のための対策実施 ・積出国での予防的防除働きかけ
10月31日	環境省 国土交通省	・早期発見・防除徹底のための対策実施 ・積出国での予防的防除働きかけ

- ・ホームページによる県民の方々への注意喚起
- ・ヒアリ相談窓口の設置
相談件数：38件（令和元年度（2月末現在））
- ・以下関係団体等への注意喚起・協力要請
庁内各部局、市町村、荷主・運送事業者の関係団体等